



外貨債處理法並ニ全法施行規則解説

本稿ハ大東亞戰爭勃發後ノ事態ニ即應シ、本邦米、英貨債ニ關シ、之カ  
邦貨債ニ依ル信換及ヒ元利支拂義務ノ政府承繼等ノ措置ヲ講スル爲メ、  
去ル十三日附法律第六十號ヲ以テ公布セラレタル外貨債處理法並ニ全法  
施行規則（本月三十一日公布、即日實施ノ豫定）ノ骨子ノ解説ヲ爲シ、  
以テ本行本支店窓口ニ於ケル全法關係事務取扱ノ参考ニ資セントスルモ  
ノテアツテ、借換條件、其ノ他數字ニ亘ル點ハ、茲テハ全ク觸レナイ。

第一、本法ノ立法趣旨並ニ其ノ骨子

一、本法ノ立法趣旨

一 昨年七月米。英ニ於テ實施セル對日資産凍結措置ニ踵ク大東亞  
戰爭ノ勃發ニ因リ、本邦米。英貨債ニ付テハ債務ノ本旨ニ從フ辨濟  
ノ途杜絶セル結果、原契約ニ基ク年次償還、減債基金ノ利用乃至利  
拂モ全ク不可能トナツタ。其處テ政府ハ本邦人及ヒ友好國人所有分  
ニ付テハ、夫等所有者ノ打撃ヲ回避スル爲メ、戰前レートノ一弗ニ  
付キ四圓二十五錢、一磅ニ付キ十六圓八十四錢ノ換算率ニ依リ、外  
國爲替管理法ニ基ク命令ヲ以テ直接邦貨ニ依ル利拂ヲ行ハシメルト  
共ニ、敵國人所有分ニ付テハ、敵産管理法ニ基ク命令ヲ以テ、全一





承諾ヲ得テ適正ナル價格ヲ以テ邦債ニ借換フルコト。

(四) 右借換ニ因リ地方債又ハ社債ノ發行者ニ過重ノ負擔ヲ生スル場合

ニハ、政府ニ於テ之ヲ適當ニ補償スルコト。

(五) 前記ノ外債地方債又ハ社債ニシテ、邦債ニ借換ヘラレサル部分

(主トシテ敵國人所有分)ニ付テハ、其ノ元利支拂義務ヲ政府ニ於テ承繼スルコト。

(六) 右元利支拂義務承繼ニ當リ、其ノ承繼對價ヲ發行者ヨリ政府ニ納付セシムルコト。

第三總 則

一、本法ノ對象トナルヘキ外貨債

本法ニ於ケル外貨債トハ「。米貨又ハ英貨ヲ以テ表示スル國債、  
地方債及社債並ニ邦貨ヲ以テ表示スルモ確定換算率ニ依リ英貨ヲ以  
テ支拂ヲ爲スヘキ特約アル地方債。」「(法律第一條)ヲ謂ヒ、  
其ノ具體的銘柄ニ付テハ施行規則ノ<sup>別</sup>表ニ掲ケテアリ。國債八銘柄、  
地方債六銘柄及ヒ社債十二銘柄、合計二十六銘柄カ本法ノ直接ノ對  
象トナルノテアル。大阪市築港公債ノ海外賣出分ハ、邦貨表示テア  
ルカ、「此ノ公債又ハ利札ヲ在倫敦エム。サミユル商會ヘ差出スト  
キハ、圓ニ付ニ志零片二分ノ一ノ換算ヲ以テ必ス支拂フモノトス」

トノ意味ノ英文裏書カアリ此ノ證券ノ在內分ハ、本邦内テ邦貨ヲ以テ支拂ヲ受ケ得ル普通ノ邦貨證券ト變リナイカラ、今回ノ措置ニ依ツテ借換ヘラレナイカ、後述ノ報告（施行規則第三條・第四條）ヲ提出セネハナラヌ。若シ此ノ報告カナイト、其ノ記番號ノモノハ内地ニ在ツテモ外國ニ在ルモノト看做サレ、政府カ其ノ元利支拂義務ヲ承繼シテシマフカラ、戰時中其ノ元利拂ヲ受ケ得ナクナル虞レカアルカラテアル。尤モ在外分ハ本法ノ對象トナルヘキ外貨債テ（別表第二十六條參照）其ノ報告（施行規則第三條、第四條）ヲ提出シテ置ケハ、原則トシテ借換ヘラレルノハ勿論テアル。尙本月三十一日ニ償還期日ノ到來スル名古屋市五分利附英貨債ハ、原契約ニ拘ラス邦貨ヲ以テ償還スルコトニナツテ居リ（法律第十七條）、從ツテ

別表ニハ掲ケテナイカ、後述ノ各種申請及ヒ報告（施行規則第二條乃至  
第四條）等ハ爲サネハナラヌカラ注意ヲ要スル。（施行規則第三十二條第二項參照）

次ニ施行規則第一條但書ノ規定ニ依レハ、

(イ) 償還ノ爲ノ抽籤ニ當籤シタルモノニシテ本令施行ノ日ニ於テ當該元金未タ支拂ハレサルモノ

(ロ) 支拂期日到来シタル利子ニシテ本令施行ノ日ニ於テ未タ支拂ハレサルモノ

等ハ本法ニ所謂外貨債テアツテモ、本法ノ對象カラ除外セラレテ居  
ル。蓋シ右ハ之等元利拂基金ハ既ニ發行者ヨリ外國へ送金セルモノ  
テアツテ、之等ヲモ借換ノ對象トスルトキハ、起債者ハ二金拂ノ負  
擔トナルカラテアル。尤モ之等ノ元本及ヒ利札ノ支拂ニ付テハ將來  
別途考慮セラルル筈テアル。

尙外貨債處理法ニ於テハ、外貨債ト謂ツテモ、四分利附拂貨債、東

京市五分利附佛貨債等ノ佛貨債及ヒ北支那開發ノ現地發行分（聯銀引受）ハ除外セラレテ居ルノハ勿論テアル。

ニ外貨債所有者等ノ申請及ヒ報告手續

借換ヲ爲スニ當ツテ、政府ハ公社債ノ信用維持ノ建前ヨリ強制的ニ之ヲ行ハス、所有者ノ任意ニ依ラシメル方針ナル關係上、發行借換ハ所有者ニ對シ借換ニ應スル意思アリヤ否ヤ、其ノ承諾ヲ求ムル必要カアル。又外貨債處理ノ準備ノ爲メ、先ツ所有者等ヨリ報告書ヲ提出セシメ、外貨債所有者ヲ確認スルト共ニ、處理手續完了スル迄任意ニ外貨債ヲ移動セシメヌ爲メ、其ノ取得又ハ處分ヲ許可事項トシテ居ル。

(1) 外貨債得喪申請

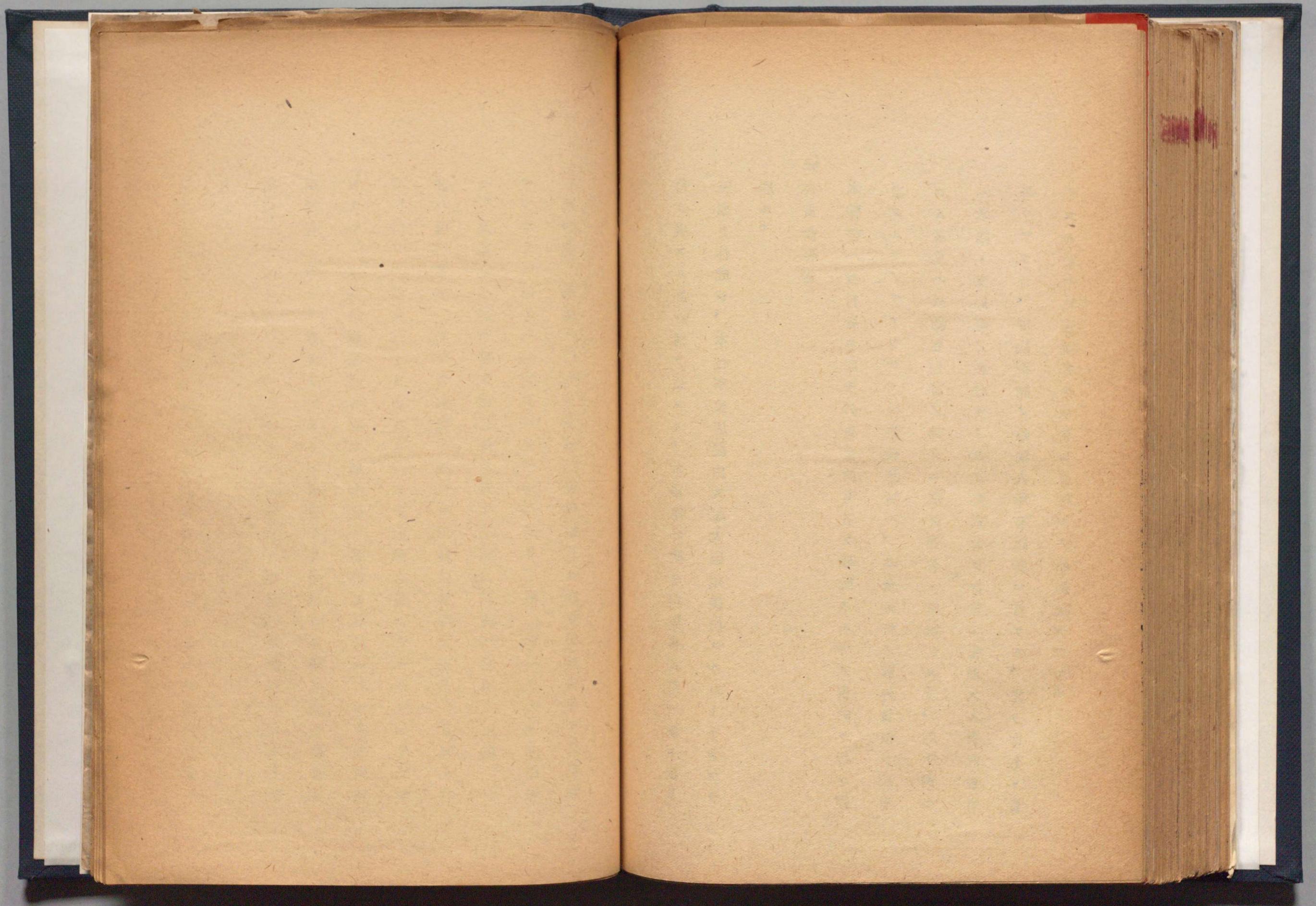
本法實施ニ付キ其ノ處理事務ヲ圓滑ナラシムル爲メ、本法ノ對象タル外貨債ノ移動ヲ可及的ニ阻止スルコトカ望マシイ。其處テ外貨債ヲ取得又ハ處分セントスル者ハ、總テ大藏大臣ノ許可ヲ要スルコトトシタカ（施行規則第二條）、外國爲替管理法又ハ外國人關係取引取締規則ニ於テ、其ノ得喪ニ付キ許可ヲ受クレハ、重ネテ本令ノ許可ヲ受クル必要カナイ。

而シテ茲ニ謂フ取得又ハ處分トハ、賣買、交換、贈與、相續、擔保權設定等ヲ包含スル取扱テアリ、又本令施行前外貨債ノ賣買約定成立済テ、唯其ノ受渡未済ノモノテモ、其ノ受渡ニ付本令ノ許

可ヲ要スル點注意ヲ要スル。本申請ハ附屬申請書式第一號ニ依リ  
三通ヲ作成シ、本行本支店經由大藏大臣宛提出スルコトナツテ  
居ル。

(四) 外貨債報告

本報告ハ發行者ニ於テ外貨債所有者ヲ確認スル等ノ目的ヲ以テ徵  
求スルモノテアツテ、報告義務者ハ、本令施行ノ際外貨債ヲ所有  
スル者又ハ外國居住者ノ爲メニ之ヲ保有・管理スル者、即チ例ヘ  
ハ米國・支那等ノ在任者ノ爲メ外貨債ヲ保管・管理スル信託會社  
等テアツテ、借換不能ノ敵國人所有證券ニ付テモ、之ヲ保有・管  
理スル者ハ報告義務ヲ課サレテ居ルノハ勿論テアル。



本報告書ノ種類ハ、外貨債總括報告書及ヒ外貨債報告書ノ二種類  
テアツテ、前者ハ報告書式第一號ニ依リ二通（何レモ大藏大臣宛）  
ヲ、又後者ハ報告書式第二號ニ依リ三通（二通ハ大藏大臣宛、一  
通ハ發行者宛、從ツテ國債ノ場合ハ三通共大藏大臣宛）ヲ夫々作  
成、何レモ四月三十日迄ニ本行本支店經由提出シナケレハナラナ  
イカラ、右期間經過後ハ遅延理由書ノ添付ヲ要スル。尙本法施行  
地域外（例ヘハ關滿支）ヨリ本報告書ヲ提出シテ來ル様ナ場合モ  
豫想セラルルカ、本行トシテハ一應之ヲ受理、進達スルコトト致  
度イ。

尙本令施行ノ日ノ翌日以降新ニ外貨債ヲ所有シ若ハ外國居住者ノ

爲メ之ヲ保有・管理スルニ至リタル者、又ハ外貨債ノ所有者若ハ  
外國居住者ノ爲メ之ヲ保有・管理スル者カ、内地ニ住所ヲ有スル  
ニ至リタルトキハ、夫々十日以内ニ本報告書ヲ提出シナケレハナ  
ラナイ。(施行規則第三條第二項)

イ) 異動報告

前記(ロ)ノ報告ヲ爲シタ者カ、其ノ後報告事項ニ異動ヲ來シタトキ  
ハ、報告書式第三號ニ依ル外貨債異動報告書三通(二通ハ大藏大  
臣宛、一通ハ發行者宛)ヲ作成シ、異動ノ都度十日以内ニ本行本  
支店經由提出スルヲ要スル。

尙茲ニ謂フ異動トハ、單ニ賣買ト謂フ様ナ權利ノ移轉ノミナラス、

本行ノスタンプ押捺ノ無イ證券ニ之カ押捺ヲ受ケタ様ナ事實上ノ  
變化、其ノ他彙ニ(四)ノ報告書テ報告シタ事項テ變更ヲ生シタモノ  
（彙ノ報告書ニ記載シタ記番號カ誤記テアツタ場合ヲモ含ム）等  
總テヲ廣ク包含シ、異動ノ原因ハ問フ所テナイ。尙又異動報告書  
ハ、異動ヲ來シタ證券ノミ報告スレハヨイノテアツテ、他ノ異動  
ノ無イ證券ハ報告スルニ及ハナイ。  
借換ニヨリ外貨債ノ所有者又ハ保有・管理者ハ、其ノ證券ヲ喪失  
スルニ至ルカ、（其ノ代リトシテ邦貨債ヲ交付セラルルカ）然シ  
其ノ喪失ニ關シ本令第二條ノ外貨債處分ノ申請モ、第四條ノ異動  
報告モ提出スル必要カ無イ外、外國爲替管理法施行規則ノ規定ニ

依ル申請・報告モ共ニ免除サレテ居ル。(施行規則第十四條)尤  
モ外國人關係取引取締規則ノ規定ニ依ル申請及ヒ報告ハ免除サレ  
テ居ナイカラ、此ノ點注意ヲ要スル。

### 第三、借換ニ關スル規定

一、借換ノ對象トナルヘキ外貨債

法律第二條ノ「外貨債發行者ハ原契約ニ拘ラス命令ヲ以テ定ムル者  
ノ所有スル外貨債ニ代ヘテ邦貨債ヲ發行シ當該外貨債ト借換フヘシ」  
ト謂フ規定ニ基キ、外貨債發行者カ借換フヘキ外貨債ハ、前述ノ施  
行規則別表ニ掲クル米・英貨債ニシテ、左記ノ者ノ所有スル證券テ  
アル。

(イ) 外國人關係取引取締規則ニ依ル指定外國人ニ非サル個人又ハ法人  
(ロ) 大藏大臣ノ指定スル者

即チ(イ)ノ指定外國人ニ非サル個人又ハ法人トハ、本邦又ハ友好國ノ  
個人又ハ法人ヲ指スノテアルカラ、結局本邦人又ハ友好國人所有ノ  
外貨債カ、借換ノ主ナル對象テアル。尤モ假令敵性人ノ所有スル外  
貨債テアツテモ、本邦人カ其ノ外貨債ニ付キ質權ヲ有スル様ナ場合  
ハ、本邦人ノ利益擁護ノ爲メ、之ヲ借換ヘタ方カ適當ナ場合モアル  
ノテ、斯ル敵性人ニ付テハ大藏大臣カ之ヲ指定シ、借換ノ對象ト爲  
スコトニシテ居ル。

而シテ本邦人及ヒ友好國人所有外貨債ノ内國債ヘノ借換ニ當ツテハ、

後述借換手續ノ項ニ於テ述フル通り、當該所有者ノ承諾ヲ要スルコトニナツテ居ルカ、本邦人ニシテ例ヘハ敵國ニ抑留セラレテ居ル者等ハ、其ノ意思ヲ確ムルコトカ出來ナイノテ、斯ルトキハ借換ヲ承諾シタモノト看做サレルコトニナツテ居ル。

## 二、所有證券證明申請

借換ニ當リ外貨債所有者ハ、後述手續ノ項ニ於テ詳述スル如ク、當該外貨債ヲ起債者ヘ提出シナケレハナラナイカ、然シ實際問題トシテハ、證券自体カ全ク存在シナイ場合、又ハ證券カ敵國ニ在ル場合ノ如ク、證券ヲ起債者ニ提出シ得ヌコトモアル。即チ  
(1) 證券不存在ノ場合

例へハ大東亞戦争勃發前米・英ヨリ引揚ケタ邦人ノ如キハ、歸朝ニ當リ本邦財務官等立會ノ上、證券ノ全部又ハ一部ヲ毀却シ、或ハ又證券・利札共ニ穿孔シ、其ノ場ニ於テ證券ノ細目ニ關スル財務官等ノ證明書ノ發給ヲ受ケタル者モアリ、斯ル場合ハ證券夫レ自体ハ全ク内・外地ニ存在セス、唯其ノ權利ヲ證スル證明書ノミ存スルコトモアル。

(ロ) 證券ノ敵國ニ在ル場合

更ニ日・英又ハ日・米相互引揚協定ニヨリ、米・英ヨリ本邦へ引揚ケテ來タ邦人中ニハ、本邦銀行ノ海外支店ニ證券ヲ保護預ケシアリテ、其ノ證明書ハ之ヲ所有シナイカ、然シ當該銀行ノ内地本

店ニ於テ證券ニ關スル細目ノ判明スルモノモアリ、或ハ又外國銀行・外國信託會社等ニ保護預ケシアリテ、其ノ受領書ニ證券ニ關スル細目ノ記載シアルモノ等、外貨債證券夫レ自体ハ敵國ニ在ルカ、其ノ所有ヲ立證スル證明書ヲ本邦ニ於テ有スル者モアル。斯ノ如ク證券ノ不存在又ハ證券ノ敵國ニ在ル場合ニハ、證券ノ所有者又ハ保有・管理スル者ハ、附屬申請書第三號ニ依ル「外貨債ノ所有並ニ所有證券證明申請書」三通ヲ作成シ、之ニ前記財務官ノ證明、銀行・信託會社ノ受領書等ノ證憑書類ヲ添ヘテ、本行本支店經由大藏大臣宛提出スレハ、大藏當局ニ於テ差支無シト認ムルモノハ、證明書ヲ與ヘテ與レルカラ、之ヲ起債者ニ提出スレハ、

證券ヲ呈示シナクテモ、借換ヲ受クルコトカ出來ル。(外貨債現物モ無ク、大藏大臣ノ證明書モ受ケラレヌ場合ハ、一應借換ヲ受クルコトカ出來ヌ譯テアル。)

### 三、借換手續

外貨債ノ借換價格、借換邦貨債ノ發行條件等ハ、總テ後述ノ外貨債處理委員會ノ議ヲ經テ決定スルノテアルカ、右決定ニ基キ起債者ハ、借換邦貨債起債條件認可申請書(申請書式第二號)、起債者ヨリ直接大藏大臣宛提出シ、其ノ認可ヲ受ケタ後、借換邦貨債ノ發行條件ヲ公告スル外、外貨債ノ所有者又ハ保有若ハ管理スル者ニ對シ、借換ヲ勸誘スルコトニナツテ居ル。



換承諾アリタル外貨債ノ額、借換發行スヘキ邦貨債ノ額及ヒ邦貨債ノ最小額面ニ滿タサル端數現金ノ額」ニ付キ大藏大臣ノ確認ヲ受ケタ上、大藏大臣ノ指定スル借換邦貨債發行日ニ邦貨債ヲ發行シ、曩ニ外貨債證券現物又ハ之ニ代ルヘキ證明書ヲ提出セル所有者又ハ保有。管理スル者ニ對シ交付スヘキ借換邦貨債ノ額及ヒ端數現金ノ額ヲ、夫等ニ通知スルコトニナツテ居ル。尤モ「大藏大臣ハ必要アリト認ムルトキハ外貨債ヲ所有スル者又ハ外國居住者ノ爲メニ之ヲ保有若ハ管理スル者ニ對シ借換交付セラルヘキ邦貨債ニ關シ必要ナル事項ヲ命スルコトヲ得」(施行規則第十六條)ルコトニナツテ居ルノテ、本項行ハ限リ極秘取扱相成處外貨債ニ代リ交付セラルヘキ邦貨債ニハ處分制限ヲ附セラレ

ル様ナ場合モアル。例ヘハ米。英ニ在ル外貨債ヲ借換ヘタ様ナトキ  
ハ、現在之等ハ、凍結状態ニ在ルノテアルカラ、依然其ノ状態ヲ繼  
續セシムルコトカ公平、妥當テアルカラシテ、賜金國庫債券ノ如ク、  
其ノ處分ニ付テハ大藏大臣ノ許可ヲ要スル様ナ方法ヲ採ルコトモ考  
慮セラレテ居ル。  
尙借換後ノ外貨債ノ利札ハ、借換後最初ニ支拂期日ノ到來スルモノ  
ニ限り有效テアルカ、支拂期日到来後一箇月以内ニ支拂ヲ受ケ無イ  
場合ハ、起債者ハ該利札代リ金ヲ特殊財産管理勘定ニ拂込ムノテ無  
効トナル。ハ法律第十八條ニ然シ利札ハ無効トナルカ、將來所有者  
ノ利益ヲ考慮シ該利札ノ代リ金ヲ支拂フ場合モアルカラ、所有者ハ  
其ノ利札ヲ證憑書類トシテ保管シテ置ク必要カアル。

Handwritten notes in Japanese, including the word "借換" (exchange) and other financial terms, written in a cursive style.

尙又起債者カ借換ニ因リ損失ヲ生シタ場合ハ、政府ヨリ現金又ハ國債ヲ以テ起債者ニ對シ補償金ヲ交付スルカ、其ノ損失基準ハ、外債債處理委員會ノ議ヲ經テ政府カ之ヲ定メルコトニナツテ居ル。其ノ他外債債タル社債ノ發行者又ハ外債債ノ所有者タル會社ノ、外債債處理ニ因リ蒙ルタル損失海上ノ損失債却ニ付テハ、施行規則第三十一條ヲ御參照セラレタイ。

#### 第四 承繼ニ關スル規定

外債債タル地方債又ハ社債ノ未償還分ハ此ノ額ノ認定ハ大藏大臣カ爲ス一ヨリ、本法ノ規定ニ依リ發行者カ其ノ所有スル自己債ヲ消却セルモノ及ヒ借換ヘラレタル外債債ヲ控除セルモノノ元利支拂義務ハ、政

府力起債者ヨリ承繼スルカ、此ノ承繼外貨債ハ、敵國人所有分並ニ本邦人又ハ友好國人ニシテ、借換ノ承諾ヲ爲サナカツタ者ノ所有スルモノデアル。

然シテ政府ノ承繼スルモノハ、元利支拂義務ノミテアツテ、外貨債ノ物上擔保其ノ他ノ原契約ハ、本契約タルト特約タルト或ハ又券面記載事項タルトヲ問ハス、總テ其ノ効力ハ消滅スル。尙此ノ元利支拂義務モ政府力承繼シタ後ハ、戰時中不確定狀態ニ置キ、從來ノ如キ特殊財産管理勅定ヘノ利子拂込ハ勿論、一切ノ元利拂ヲ停止シ、總テ戰後ノ外交交渉ニ俟ツコトニナツテ居ル。

尙起債者ハ元利支拂義務ヲ政府ニ承繼セラルルノデアルカラ、其ノ對

價ヲ政府ニ納付スルコトトナツテ居ルカ、其ノ基準ハ政府カ外貨債處  
理委員會ノ議ヲ經テ決定スル。起債者ハ右承繼對價納入ニ當リ、現金  
ヲ以テ納入シテモ、當該起債者ノ發行スル地方債證券若ハ社債證券ヲ  
以テ納付シテモ差支無イノテアルカ、後者ノ證券ヲ以テ納付スル爲メ、  
新ニ邦貨債ヲ起債スル場合ハ、其ノ發行條件等ニ關シ大藏大臣ノ認可  
ヲ受ケナケレハナラヌ。尤モ起債者ハ借換ニ因リ生シタ損失ヲ政府ヨ  
リ補償セラルルノテアルカラ、其ノ補償金ト此ノ元利支拂義務承繼對  
價納入金トヲ相殺シ、其ノ差額ニ付キ政府ト起債者トノ間ニ於テ決濟  
シ得ル途モ拓カレテ居ル。

外貨債處理法ノ具體的運營ニ關スル重要事項ニ付テハ、政府ハ之ヲ外貨債處理委員會ニ諮問シ、其ノ答申ニ基キ外貨債處理ノ具體的實行ヲ爲スノテアルカ、全委員會ノ主要權限事項ハ次ノ如キモノテアル。

(イ) 邦貨債ニ借換ヘラルヘキ外貨債ノ償裕其ノ他ノ借換條件（法律第三條第一項）  
(ロ) 外貨債ノ借換ニ因リ蒙ル起債者ノ損失ニ對シ政府ノ行フヘキ補償基準（法律第六條第二項）

(ハ) 借換不能ノ外貨債ノ元利支拂義務ヲ政府カ承繼スル場合ノ發行者カ政府ニ納付スヘキ對價ヲ決定スル基準（法律第十條第二項）

尙委員ハ關係官廳高等官ノ外、日銀及ヒ興銀ノ代表者、學者、貴衆兩院議員等學識、經驗アル者ヲ網羅セラルル管テアル。

以上

印度支那貨	Piastres	1 = ¥	0.9996	西爾然丁	貨	Peso	1 = ¥	1.018
泰貨	Baht	1 = ¥	1.000	伯刺西爾	貨	Milreis	1 =	0.218
暹羅貨	Rienko mark	1 =	1.905	智利	貨	Peso	1 =	0.1375
伊太利貨	Lira	1 =	0.2235	秘露	貨	Sol	1 =	0.655
佛貨	F. Fcs	1 =	0.093	瑞西	貨	S. Fcs	1 =	0.989
ポルガル貨	± 79 - 10	1 =	0.173	瑞典	貨	Krone	1 =	1.015
白耳義貨	Belga	1 =	0.950	支那	貨	Local \$	1 =	0.150
(國定規格 55.25 × 3.25 毫)								
英貨	Stg. £	1 = ¥	16.84	米	算	U. S. \$	1 = ¥	4.25
埃及貨	£. £	1 =	17.27	加奈陀	貨	Can. \$	1 =	3.77
南洲貨	Local £	1 =	16.66	墨西	貨	Peso	1 =	0.88
濠洲貨	a. £	1 =	13.44	比律賓	貨	Peso	1 =	1.00
新西蘭貨	Local £	1 =	13.22	蘭印	貨	Rs	1 =	1.00
海峽貨	St. \$	1 =	1.00	和蘭	貨	fl. \$	1 =	1.00
印度緬甸貨	Rupiee	1 =	1.00	香港	貨	fl. \$	1 =	0.50

(照 1911-1 改定) 大藏省 為替局

